

家庭用燃料電池「エネファーム」販売開始 10 周年について

2019 年 4 月 23 日
エネファームパートナーズ

エネファーム普及推進協議体「エネファームパートナーズ」（事務局：日本ガス体エネルギー普及促進協議会^{※1}）は、家庭用燃料電池「エネファーム」が 2019 年 5 月をもって販売開始から 10 周年を迎えることをお知らせいたします。

「エネファーム」は、2009 年 5 月 1 日^{※2}に世界で初めて家庭用燃料電池として P E F C^{※3}タイプが発売され、2011 年より S O F C^{※4}タイプが加わりました。また、マンションに設置できる機種、停電時発電機能を具備した機種、寒冷地に対応した機種、などラインナップの充実が図られ、普及台数は 2018 年度末で 276, 217 台^{※5}と拡大を続けています。

「エネファーム」は、都市ガスや L P ガスから取り出した水素と空気中の酸素の化学反応により発電する家庭用燃料電池システムです。発電と同時に排熱を給湯に利用することで、家庭での省エネ・省 C O₂ に大きく貢献します。

さらに、昨年は自然災害による停電が各地で発生しましたが、停電時発電機能付きのエネファームが発電し、停電中も一部の電気をお使いいただけただことから、「エネファーム」の防災性への注目も高まっています。

国の政策においても、「エネファーム」は水素社会実現に向けたフロントランナーと位置付けられており、国や地方自治体の導入支援制度が整備されるなどその普及に大きな期待がかけられています。

今後も「エネファームパートナーズ」では、住宅関連業界、エネファーム製造業界、エネルギー業界が連携し、省エネルギー社会、省 C O₂ 社会への貢献に向けてさらなる「エネファーム」の普及拡大に取り組んでまいります。

※1 都市ガスの業界団体である一般社団法人日本ガス協会、L P ガスの業界団体である日本 L P ガス団体協議会、コミュニティーガス（旧簡易ガス）の業界団体である一般社団法人日本コミュニティーガス協会の 3 団体で構成（通称：コラボ）

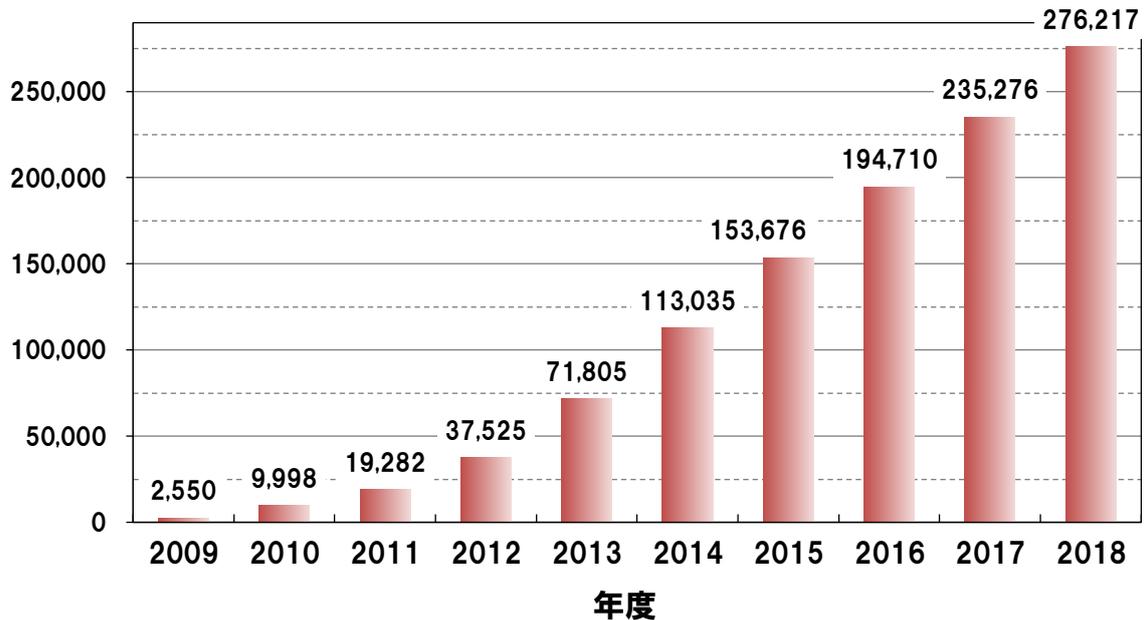
※2 東京ガス株式会社が販売開始。

※3 固体高分子形燃料電池（Polymer Electrolyte Fuel Cell）。

※4 固体酸化物形燃料電池（Solid Oxide Fuel Cell）。

※5 民生用燃料電池導入支援補助金交付決定ベース（一般社団法人 燃料電池普及促進協会集計）。

「エネファーム」普及台数の推移



※民生用燃料電池導入支援補助金 交付決定ベース（一般社団法人 燃料電池普及促進協会集計）

「エネファーム」のラインナップ

2009年の販売開始以降、高効率化・小型化・低コスト化のモデルチェンジが進められるとともに、「マンション向け」や「停電時発電機能付き」などバリエーションが拡充されています。

製造メーカー	パナソニック	アイシン精機
外観		
電池形式（定格 W）	PEFC（700W）	SOFC（700W）
発電/総合効率（LHV）※	40.0%/97.0%	52.0%/87.0%
燃料	都市ガス/LPガス	都市ガス/LPガス

※定格出力、発電/総合効率は、戸建住宅向け都市ガス用の数値です。

※Lower Heating Value：低位発熱量基準。

「エネファームパートナーズ」について

「エネファームパートナーズ」は、「エネファーム」の一層の普及を目指し、住宅関連業界、エネファーム製造業界、エネルギー業界が“業界の枠”を超えて一致団結し、2013年5月に設立されました。2019年3月現在、160団体・事業者で構成されています。



事務局：日本ガス体エネルギー普及促進協議会

以上

お問合せ先：

エネファーム パートナーズ事務局（一般社団法人日本ガス協会 業務推進部内）

電話：03-3502-0112（一般社団法人日本ガス協会 広報室）